

事務事業実績測定調書

R5調書番号 133

事務事業名称	栄養改善指導事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名		6-1.保健医療制度の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	給食施設を利用する者			
	サブターゲット	給食施設の設置者、管理者			
	ターゲットが抱える課題	給食施設の種類により、給食を通じた健康づくり活動が十分でない場合がある。			
	ターゲットが抱える課題	給食による健康づくりが推進されていない場合がある。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	提供される給食や、事業者が発信する食育活動により、給食施設を利用する者がよい食生活を築き、よい健康状態を保つ。				
事業概要	・特定給食施設設置者からの各種届出の受理 ・特定給食施設管理者及び給食関係者等に栄養改善の見地から必要な指導を行い、給食内容の向上を図るとともに、喫食者に対しても給食を通じた健康づくりを推進する。 ・誇大表示についての相談指導。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						栄養改善の見地から必要な指導を行う。				特定給食施設設置者から各種届出の受理する。			
指標設定	指標説明					研修会等の実施回数				受理に係る執行率(従前どおり)			
			単位	回			単位	%					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値	目標 (見込み)				R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		実績				0	0	2	3	100	100	100	100
達成度						150%				100%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						必要に応じて事業者に指導を行う。。				誇大表示についての相談を受ける。			
指標 設定 ②	指標説明					必要時の指導率				相談に係る執行率(従前どおり)			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	100	100	100	100
	実績					100	100	100	100	100	100	100	100
	達成度					100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	7,812	7,895		
	会計年度任用職員	0	908	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,143	8,720	7,895		
	物件費計	54	42	108	263	41.1%
歳出計		3,197	8,762	8,003		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)		0	0	0	0	
一般財源(物件費に充当されるもの)		54	42	108	263	

5. 総括的分析

総括的分析	取り組みについて適正に執行することができた。
-------	------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 134

事務事業名称	衛生統計事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標			2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち						
	施策目標			6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち						
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	人口動態調査令、医療法施行令				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	厚生労働省が実施する国民生活基礎調査、社会保障・人口問題基本調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、医療施設静態調査等について、厚生労働省から割り当てられた対象地区の住民。			
	サブターゲット	厚生労働省から割り当てられた地区以外の住民。			
	ターゲットが抱える課題	公衆衛生行政の企画と実施上の指針を得るための基礎資料のデータを収集する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公衆衛生行政の向上を図るための基礎資料を収集するとともに、公衆衛生に関する市民の意識が高まっている状態。				
事業概要	・厚生労働省が実施する国民生活基礎調査、社会保障・人口問題基本調査、医師・歯科医師・薬剤師調査、医療施設静態調査等、各種厚生統計調査の実施に係る事務を行う。 ・厚生労働省より割り当てられた対象地区に対して、調査員を派遣し、戸別訪問等により調査を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						各種厚生統計調査が完了する。				厚生労働省より割り当てられた対象地区に対して、調査員を派遣し、戸別訪問等により調査を行う。					
指標設定	指標説明					国民生活基礎調査における回答率 【算出式:回答世帯数／対象世帯数×100】				国民生活基礎調査における対象世帯数					
			単位	%			単位	世帯							
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						100	100	100	100	250	250	400	250
		実績						0	0	100	100	0	230	379	203
達成度						100%				81%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	27.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,143	3,906	3,948		
	会計年度任用職員	870	0	0		
	特別職非常勤	269	1,298	715		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	4,282	5,204	4,663		
歳入	物件費計	302	682	500	1,148	43.6%
	歳出計	4,584	5,886	5,163		
	国庫支出金	0	472	444	1,171	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	202	472	444	1,171	
一般財源（物件費に充当されるもの）		100	210	56	0	

5. 総括的分析

総括的分析	調査書類の取り扱いに注意し、問題なく調査を実施することができた。
-------	----------------------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努める

事務事業実績測定調書

R5調書番号 135

事務事業名称	実習生受入に関する事務												
測定年度	2023 (R5) 年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課				
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名												

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択の事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2014 (H26) 年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	地域保健法						
関係補助金名称				サンセット		～	
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	臨床研修医、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士および精神保健福祉士等の実習生が学ぶ施設を利用する市民					
	サブターゲット	臨床研修医、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士および精神保健福祉士等の実習生					
	ターゲットが抱える課題	講義で学んだ公衆衛生行政の知識や技術等の実際を学ぶ機会がない。					
	ターゲットが抱える課題	公衆衛生行政の担い手が不足することで、安定したサービスが受けられない。					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	実習を通して知識や技術を向上させ、将来の公衆衛生行政の担い手として活躍する。						
事業概要	・施設からの依頼による臨床研修医、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士及び精神保健福祉士等の実習を受け入れる。(ただし、保健師及び管理栄養士については、大阪府で一元的に依頼を受け、府下の保健所に振り分ける) ・契約の締結、受け入れ料の請求等の事務を行う。 ・施設と調整し、実習の目的に沿ったプログラムを作成する。 ・実習生が、保健所(保健企画課・保健衛生課・保健予防課・保健センター)の業務を実地で経験することで、所属の施設で学んだ公衆衛生に関する知識の理解を深め、技術の向上を図れるよう指導を行う。						

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)								
		実習生が所属の施設で学んだ公衆衛生に関する知識の理解を深め、技術の向上を図れる。				実習の目的に沿ったプログラムを実施する。				施設からの依頼による臨床研修医、医師、保健師、看護師、管理栄養士、歯科衛生士及び精神保健福祉士等の実習を受け入れる。								
指標設定	指標説明		実習生が公衆衛生に関する知識の理解が深まったと感じている割合				プログラム実施対象人数				実習受け入れ率							
			単位		%				単位		人				単位		%	
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標							
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5				
		目標 (見込み)	100	100	100	100	67	67	67	67	100	100	100	100				
		実績	100	100	100	100	68	77	64	51	100	100	100	100				
	達成度		100%				76%				100%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	3,929	3,906	3,948		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	3,929	3,906	3,948		
	物件費計	674	6	3	14	21.4%
歳出計		4,603	3,912	3,951		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	253	875	666	970	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	253	875	666	970	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		421	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	臨床研修医、医師、保健師、看護師、管理栄養士の養成課程の実習を受け入れ、指導を行うことにより、講義で学んだ知識や技術の習得・向上を図る場を提供するとともに、将来の公衆衛生行政を担う人材の育成を図った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 136

事務事業名称	地域保健対策推進事業												
測定年度	2023(R5)年度				部	健康福祉部				課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名		6-2.健康づくりの推進										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス		特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	地域保健法、健康増進法					
関係補助金名称				サンセット	～	
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	関係機関に係る市民及び在学・在職者				
	サブターゲット	関係機関(訪問看護ステーション連絡会、市立中学校・市内高等学校等、市三師会・病院、地域活動栄養士会、市内企業、北河内圏域における病院・医院・歯科診療所・薬局等)				
	ターゲットが抱える課題	関係機関等との連携(情報の共有、保健医療資源の相互活用、保健事業の共同実施、会議の開催、活動する団体等への協力・支援等)の充実				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	地域組織・団体・医療機関等における関係者が連携し、市民の生涯を通じた健康づくりを支援する。					
事業概要	地域の組織・団体、医療機関等との連携を総合的に展開するため、関係者が情報の共有化を図り、それぞれが有する保健医療資源の相互活用、また、保健事業の共同実施等により、連携体制の構築を図るための会議開催や、地域で活動する団体等への協力・支援を行う。また、大阪府保健医療計画の推進に係る取り組みに参画し、地域の医療体制の充実を図る。 ・訪問看護ステーション連絡会議事務局 ・公立、私立の高校の保健主事、養護教諭及び保健所関係者との連絡会議事務局 ・地域保健医療問題懇談会事務局 ・地域活動栄養士会支援業務 ・地域医療連携推進事業 ・大阪府医療計画推進事業					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		市民が安心して医療を受けられる体制づくりにつながる。				地域で活動する団体等への協力・支援が行われる。				地域で活動する組織・団体、医療機関等との連携を行う。			
指標設定	指標説明	共同して行った事業や会議の満足度				団体と協力して開催した講演会やイベントの数				市が主催する会議の開催件数			
	単位		%		単位		回		単位		件		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)	100	100	100	100	4	4	4	4	21	21	21
	実績	100	100	100	100	0	0	4	4	5	11	19	21
達成度		100%				100%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.90
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,857	14,843	15,001		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,857	14,843	15,001		
	物件費計	109	131	58	1,369	4.2%
歳出計		7,966	14,974	15,059		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	57	64	38	387	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	57	64	38	387	
一般財源（物件費に充当されるもの）		52	67	20	982	

5. 総括的分析

総括的分析	市内訪問看護ステーション、市三師会、市内病院の医療連携室、枚方市（健康福祉総合相談課、母子保健課、保健所）等実務者による情報共有や協議の場を設け、関係機関相互の連携体制の維持・推進を図った。 なお、地域医療連携推進事業（北河内圏域糖尿病医療ネットワーク会議）は、大阪府通達にて2024（令和6年）3月末当事業実施要領を廃止すると通知があり、北河内圏域においても2024（令和6年）度以降は実施しない方針となっている。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 137

事務事業名称	保健所施設維持管理事業									
測定年度	2023(R5)年度		部	健康福祉部		課	保健所保健医療課			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保健所に来所する市民・事業者等			
	サブターゲット	保健所に勤務する職員等			
	ターゲットが抱える課題	保健所に来所する市民・事業者等が、安全で快適に利用できるよう必要な施設保全や保守点検等を実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	保健所に来所する市民・事業者が、安全で快適に利用できている。				
事業概要	保健所業務を滞りなく遂行するために必要な施設の維持・管理を行う。 ＜業務概要＞・光熱水費等、施設維持上必要な経費の支払い・施設維持上必要な業務の委託(自動扉保守点検委託・機械警備委託・清掃業務委託・消防用設備保守点検委託・電気工作物保安管理委託・冷暖房設備保守点検委託・健康管理システム保守委託・一般廃棄物処理委託・保健所剪定及び草刈作業委託・ガスヒーポン保守点検委託・許認可システム保守委託(Java有償対応含む)・電話機器内線設定委託)				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						保健所施設が適正に維持管理されている。				必要な保守点検等を実施する。			
指標設定	指標説明					修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				保守点検実施回数			
						単位	%以内			単位	回		
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	10	10	10	10
	実績					110	865	971	40	25	25	25	25
	達成度					160%				250%			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②						保健所施設が適正に維持管理されている。				所内の節電・節水等に努める。			
指標設定②	指標説明					光熱水費決算額の前年度比 【算出式:光熱水費に係る今年度決算額/同前年度決算額×100】				所内に節電・節水等に関する啓発を実施した回数。			
							単位	%			単位	回	
	指標種類					減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	2	2	2	2
	実績					104	133	103	78	2	2	2	2
達成度						122%				100%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,286	3,906	3,948		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,286	3,906	3,948		
物件費計		16,556	17,417	16,035	20,724	77.4%
歳出計		22,842	21,323	19,983		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		16,556	17,417	16,035	20,724	

5. 総括的分析

総括的分析	適正に事務を執行できた。
-------	--------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 138

事務事業名称	保健所総括事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	地域保健法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	保健所運営協議会				
事業対象	メインターゲット	保健所業務に従事する職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	地域保健法に基づく、地域住民の健康保持及び増進を図ることを目的とした保健所の事業が行えなくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	円滑な事業実施により、地域住民の健康保持及び増進が図られている。				
事業概要	地域保健法に基づき、地域住民の健康の保持及び増進を図ることを目的に、保健所を設置し事業を実施する。 ・保健所の設置、企画、運営、報告 ・保健所における企画、調整、指導及び事業の実施 ・地域住民の健康の保持及び増進のための事業の実施 ・保健所施設の手数料等の徴収 ・保健所事業等について厚生労働大臣へ報告				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)							
						円滑な事業実施が図られる。				保健所における企画、調整を実施する。							
指標設定	指標説明					円滑な事業実施が行うことが出来ている保健所の割合 【算出式:幹部会及び運営協議会の開催実績/開催回数×100】				保健所運営に係る幹部会(年12回)及び運営協議会(年1回)の開催回数							
					単位	%		単位	回								
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標						
	指標数値									R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)								100	100	100	100	13	13	13	13
		実績								92.30	100	100	100	12	13	13	13
達成度						100%				100%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	9.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	13,357	8,593	8,685		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	86	22	24		
	人件費計	13,443	8,615	8,709		
	物件費計	682,294	549,412	247,916	307,970	80.5%
歳出計		695,737	558,027	256,625		
歳入	国庫支出金	288,078	143,413	10,047	10,026	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	125,737	253,299	216,616	217,989	
	受益者負担（使用料、手数料）	5	0	6	5	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	18,946	0	1	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	413,820	415,658	226,669	228,021	
一般財源（物件費に充当されるもの）		268,474	133,754	21,247	79,949	

5. 総括的分析

総括的分析	適正に事務を執行した。
-------	-------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 156

事務事業名称	自殺予防対策事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2009(H21)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	自殺対策基本法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	自殺対策計画審議会				
事業対象	メインターゲット	過労、生活困窮、育児や介護疲れ、いじめや孤立などの様々な社会的要因により危機に陥った人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、助けを求めることへのためらいを感じる。			
	ターゲットが抱える課題	悩みを抱えたときやストレスを感じたときに、どこに相談すればよいのかわからない。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができるように、社会全体で包括的な支援を行い、市民一人ひとりが心身ともに健やかに暮らせる。				
事業概要	①電話相談員の養成研修及び研修を修了した相談員による相談専用電話「ひらかた いのちのホットライン」を実施する。 ②市民及び関係機関・団体の職員を対象に、ゲートキーパー養成研修を実施する。 ③自殺予防に係る情報提供と啓発を推進する。 ④関係機関及び庁内関係課の連携を図るため、ネットワーク会議を開催する。 ⑤「枚方市いのちを支える行動計画(自殺対策計画)」を推進する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができる。				悩みを抱えたときやストレスを感じたときに相談する場がある。				「ひらかた いのちのホットライン」を実施する。				
指標設定	指標説明	自殺死亡率 【算出式:自殺死亡数／人口×10万】				「ひらかた いのちのホットライン」を知っている人の割合。				啓発グッズの配布など「ひらかた いのちのホットライン」の周知を実施する回数。				
		単位		%		単位		%		単位		回		
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	-	11.0以下	11.0以下	11.0以下	50以上	53以上	57以上	60以上	4	4	4	4
		実績	13.20	14.20	14.80	14.90	-	-	56	53.90	2	0	2	2
	達成度	135%				90%				50%				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル②		誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができる。				研修に市民等が参加し、ゲートキーパーが養成される。				ゲートキーパー養成研修を実施する。			
指標設定②	指標説明	自殺死亡率 【算出式: 自殺死亡数／人口×10万】				ゲートキーパー養成研修における理解度。 受講後「理解できた」と回答した割合。				ゲートキーパー養成研修を受講した人数。			
		単位 %				単位 %				単位 人			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	11.0以下	11.0以下	11.0以下	50	60	65	70以上	200	200	200	200
	実績	13.20	14.20	14.80	14.90	0	0	1	98	0	0	79	114
達成度		135%				140%				57%			
ロジックモデル③		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		誰もが自殺に追い込まれることなく、安心して生きることができる。				イベント等に市民が参加する。				自殺予防に係る情報提供と啓発を行う。			
指標設定③	指標説明	自殺死亡率 【算出式: 自殺死亡数／人口×10万】				自殺予防に係る講演会等の参加者数。				自殺予防に係る講演会等の実施回数。			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	-	11.0以下	11.0以下	11.0以下	90	90	90	90	1	1	1	1
	実績	13.20	14.20	14.80	14.90	0	0	54	53	0	0	5	6
達成度		135%				59%				600%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	7.00

4. 決算額

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,286	7,812	7,895		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	191		
	人件費計	6,286	7,812	8,086		
歳出計	物件費計	5,965	8,208	8,179	9,086	90.0%
	歳出計	12,251	16,020	16,265		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	3,207	3,285	3,221	3,241	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	3,207	3,285	3,221	3,241	
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,758	4,923	4,958	5,845	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年度は「第2期枚方市いのちを支える行動計画(自殺対策計画)」を策定。第1期計画を振り返り、また社会情勢の変化を踏まえ、自殺対策の方向性を再確認した。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	関係機関や団体と引き続き連携をし、周知啓発の継続をはじめ個別での相談や支援の充実を図る。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 157

事務事業名称	精神保健福祉事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事业	区分	一般事務事業
事業期間	2014(H26)年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」第46条、第47条「保健所及び市町村における精神保健福祉業務について」(平成12年3月31日障第251号厚生省大臣官房障害保健福祉部長通知)「保健所及び市町村における精神保健福祉業務運営要領」				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	様々な心の悩みや病気を抱えた市民とその家族			
	サブターゲット	様々な心の悩みや病気を抱えた市民の家族			
	ターゲットが抱える課題	心の悩みを解決、ストレスを軽減することに支援が必要。			
	ターゲットが抱える課題	心の病気を抱えているが、医療を受けることに支援が必要。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	様々な心の悩みやストレスを軽減でき、適切な相談や支援につながるができる。				
事業概要	①こころの健康相談(精神科医・臨床心理士・精神保健福祉士・保健師等による電話、来庁、訪問等による相談、専用ダイヤルを含む) ②一般人からの診察及び保護の申請、警察官からの通報に基づく措置診察に関する業務 ③市民および関係機関職員等を対象とした、こころの健康づくりや精神保健福祉に関する知識の普及・啓発のための講演会や研修会の実施および、モバイルメンタルチェックシステム「こころの体温計」の実施 ④障害者本人や家族等を対象とした、精神障害に関する正しい知識の習得や対応方法等を学ぶための教室の開催 ⑤精神科病院実地指導 ⑥自殺対策に係る自殺未遂者支援事業の実施 ⑦心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律(医療観察法)に基づく会議への出席、訪問等の実施 ⑧精神保健福祉法で定められた報告等の受理および大阪府等への進達 ⑨自動車税減免に関する書類交付事務 ⑩健康医療都市ひらかたコンソーシアム連携事業『こころの健康増進部会』における精神科と一般科の連携に向けた取り組みの実施				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		様々な心の悩みやストレスを軽減でき、適切な相談や支援につながるができる。	講演会等に市民が参加する。	こころの健康づくりや精神保健福祉に関する知識の普及・啓発のための講演会や研修会を実施する。
指標設定	指標説明	本人や家族、関係機関等からのこころの健康相談件数。	講演会等の参加者数。	講演会や研修会の実施回数。
		単位 件	単位 人	単位 回
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標 (見込み)	— 4,900 4,900 4,900	4,900 130 130 130	2 2 2 2
		実績		
		0 5,735 5,189 5,761	4,224 0 0 53	2 0 0 1
達成度		118%	41%	50%

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
		様々な心の悩みやストレスを軽減でき、適切な相談や支援につながる ことができる。				対象者が参加する。				障害者本人や家族等を対象とし た、精神障害に関する正しい知識 の習得や対応方法等を学ぶため の教室を開催する。				
指標設定 ②	指標説明	本人や家族、関係機関等からのこ ころの健康相談件数。				家族教室の参加者のべ数。				家族教室の開催件数。				
		単位		件		単位		人		単位		件		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)	—	4,900	4,900	4,900	130	300	300	300	3	30	30	30
		実績	0	5,735	5,189	5,761	0	0	0	0	0	0	0	0
	達成度	118%				0%				0%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.65
特別職非常勤	2.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額 (千円)

		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	正職員、再任用、任期付	29,071	31,248	31,580		
	会計年度任用職員	7,297	7,179	4,198		
	特別職非常勤	25	50	1,725		
	附属機関委員	0	114	0		
	人件費計	36,393	38,591	37,503		
	物件費計	2,548	2,762	2,569	3,874	66.3%
歳出計		38,941	41,353	40,072		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	122	105	77	802	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	122	105	77	802	
一般財源（物件費に充当されるもの）		2,426	2,657	2,492	3,072	

5. 総括的分析

総括的分析	こころの相談には本人のみならず周囲の方からの相談も多い。そのため本人の人権に配慮しながら、必要な医療や支援の提供が速やかに行えるように、注意が必要である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	心身の不調を感じた市民のより身近な相談先として幅広く周知し、適切な支援に早期につながるように専門職の対応を継続する。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 177

事務事業名称	医事事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択の事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	医療法、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゆう師等に関する法律、柔道整復師法、歯科技工士法、死体解剖保存法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	本市内の医療機関等において、医療等を受ける者。			
	サブターゲット	本市内の病院、診療所、助産所、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう、柔道整復業務を行う施術所、歯科技工所			
	ターゲットが抱える課題	地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域で必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制が構築される必要がある。			
	ターゲットが抱える課題	誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制を充実する必要がある。			
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	地域のかかりつけ医から高度な医療を提供できる公的病院までが連携し、住み慣れた地域で必要な医療が受けられる地域医療の充実を図るなど、市民の医療ニーズに適切に対応できる医療体制が構築されるとともに、誰もが日頃から健康づくりに取り組めるよう、健康増進に関する情報提供や相談体制が充実している。				
事業概要	1. 病院、診療所及び助産所を開設又は変更、休止、廃止及び再開する場合において、開設許可等を行う。その際、病院、診療所及び助産所の構造設備等を検査(確認)する。 2. あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう又は柔道整復業務を行う施術所を開設又は変更、休止、廃止及び再開する場合において、施術所開設届等を受理する。その際、施術者の資格や施術所の構造設備等を確認する。 また、施術所を開設せずに、施術者が出張による施術業務を行う場合は、出張施術業務開始届等を受理する。 3. 歯科技工所を開設又は変更、休止、廃止及び再開する場合において、歯科技工所開設届等を受理する。その際、歯科技工士の資格や歯科技工所の構造設備等を確認する。 4. 医療法第25条に基づき、病院及び診療所の立入検査を行う。 5. 患者、家族等からの苦情・心配や相談等及び医療機関からの相談等を行う。 6. 救急病院等を定める省令に基づき、関係機関の意見をまとめ、大阪府へ進達する。 7. 死体解剖保存法に基づき、死体解剖等に関する事務を行う。 8. 歯科衛生士に対する保健所長の指示 9. 高度医療の提供を目的とする診療所の開設の許可				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						病院、診療所及び助産所の開設許可等を行う。				病院、診療所及び助産所の開設、廃止申請を受理する。			
指標設定	指標説明					各種申請に対する対応率 【算出式:対応数／申請等の受理件数×100】				病院、診療所及び助産所の開設、廃止申請等の受理件数			
						単位				単位			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	400	400	400	400
	実績					100	100	100	100	435	451	505	500
達成度						100%				125%			

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう又は柔道整復業務を行う施術所の構造設備等が基準に適合していることを確認する。				あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう又は柔道整復業務を行う施術所の開設、廃止等申請を受理する。					
指標設定②	指標説明						各種申請に対する対応率 【算出式:対応数／申請受理件数×100】				施術所の開設、変更、廃止等申請受理件数				
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値	目標 (見込み)		100				100				160			
		実績		100				100				173			
		達成度		100%				81%							

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	2.69
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	1.10
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

			R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,857	16,405	21,238		
		会計年度任用職員	3,129	825	755		
		特別職非常勤	0	0	0		
		附属機関委員	0	0	0		
		人件費計	10,986	17,230	21,993		
	物件費計		25,761	25,844	25,850	25,985	99.5%
歳出計		36,747	43,074	47,843			
歳入	国庫支出金		0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金		83	78	109	120	
	受益者負担（使用料、手数料）		1,382	1,383	1,518	1,700	
	市債		0	0	0	0	
	その他		0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）		1,465	1,461	1,627	1,820	
一般財源（物件費に充当されるもの）			24,296	24,383	24,223	24,165	

5. 総括的分析

総括的分析	病院、診療所(医科・歯科)、助産所に関する申請・届出については受理件数は増加傾向にあるが適正に対応している。施術所に関する届出の受理件数は目標より少なかったが、適正に対応した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 178

事務事業名称	衛生検査所指導事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理		特性		内部事務		区分		一般内部管理事務	
事業期間	2014 (H26) 年度			年度	～	年度まで				
根拠法令等	臨床検査技師等に関する法律									
関係補助金名称						サンセット		～		
関係附属機関名称										
事業対象	メインターゲット	臨床検査技師法等に関する法律に基づき登録される衛生検査所。								
	サブターゲット									
	ターゲットが抱える課題	市内の衛生検査所に係る登録申請、変更届出書等の受理、登録証明書等の交付、及び適正な検査業務執行のための立入調査が、迅速かつ正確に行われる必要がある。								
	ターゲットが抱える課題									
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市内に衛生検査所が登録された場合に、衛生検査所に係る登録申請、変更届出書等の受理、登録証明書等の交付、及び適正な検査業務執行のための立入調査が迅速かつ正確に行われることにより、市内の衛生検査所が適正に検査業務を執行できる体制が確保されている。									
事業概要	臨床検査技師等に関する法律に基づき、衛生検査所の登録申請、登録の変更、登録証明書の書換交付、登録申請書再交付申請書等の受理、適正な検査業務執行のための立入調査 衛生検査所の登録申請、登録の変更、登録証明書の交付及び書換交付、登録申請書再交付申請書を受理し、必要に応じて立入調査を実施する。また、変更事項が生じた場合には、変更届出書を受理し、必要に応じて立入調査を実施する。衛生検査所の適正な検査業務執行ため、立入調査を実施し、指導を行う。現在、市内に衛生検査所は登録されておらず申請等の実績はない。市内に登録された場合に備え、衛生検査所の登録がある府市が開催する衛生検査所精度管理合同会議に出席する。									

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						必要に応じて検査業務執行のための立入調査を行う。				衛生検査所の登録申請、登録の変更、登録証明書の書換交付、登録申請書再交付申請書等の受理を行う。					
指標設定	指標説明					設置された衛生検査所の立入検査実施率 【算出式:立入検査実施件数/市内衛生検査所数×100】				衛生検査所に係る申請等の受理件数					
	指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標								
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						100	100	100	100	0	0	0	1
		実績						0	0	0	0	0	0	0	0
達成度						0%				0%					

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	0	0	0		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	0	0	0		
	物件費計	0	0	0	0	
歳出計		0	0	0		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
一般財源（物件費に充当されるもの）		0	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和5年4月時点で本市には衛生検査所がなく、令和5年度中の新規登録申請もなかった。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	衛生検査所の新規登録申請等があった場合に遺漏なく適正な手続きができるよう、引き続き情報収集に努める。

事務事業実績測定調査

R5調書番号 179

事務事業名称	免許申請等経由事務									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014 (H26) 年度	年度	～		年度まで
根拠法令等	医師法、歯科医師法、視能訓練士法、放射線技師法、薬剤師法、臨床検査技師等に関する法律、理学療法士及び作業療法士法、保健師助産師看護師法				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	各法律に関する免許申請を行う者。			
	サブターゲット	各免許を所持する者を雇用する医療機関。			
	ターゲットが抱える課題	各法律に基づく免許申請等の事務が行えなくなる。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 （課題が解決した状態）	各法律に関する免許申請の受付、審査、府への進達、および、各種免許証の交付が迅速で正確に処理され、対象者の利便性が確保されている。				
事業概要	各免許申請の経由 免許申請に係る書類の受付、審査、府知事への提出及び免許証の交付を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
						大阪府への進達を行う。				各免許の申請等を受理する。			
指標設定	指標説明					各免許申請の大阪府への進達率 【算出式:進達数／各免許申請の受理件数×100】				各免許申請の受理件数			
						単位 %				単位 件			
	指標種類					増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値					R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	700	700	700	700
	実績					100	100	100	100	847	805	815	667
達成度						100%				95%			

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.50
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,071	11,718	11,843		
	会計年度任用職員	652	165	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,723	11,883	11,843		
歳入	物件費計	259	26	18	46	39.1%
	歳出計	7,982	11,909	11,861		
	国庫支出金	0	0	0	0	
歳入	府支出金	126	266	133	410	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	126	266	133	410	
一般財源（物件費に充当されるもの）		133	0	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	適正に事務処理を執行した。
-------	---------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 180

事務事業名称	薬事事業									
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課	
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち							
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち							
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事业	区分	非選択的事務事業
事業期間	2014(H26)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	1. 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律(医薬品医療機器等法)2. 毒物及び劇物取締法				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	薬局、医薬品販売業(店舗販売業)、医療機器販売業・貸与業、毒物劇物販売業の営業者及びその従業者、毒物劇物業務上取扱者 等			
	サブターゲット	医薬品等を使用する者または使用する可能性がある者			
	ターゲットが抱える課題	コンプライアンス意識の低さ。			
	ターゲットが抱える課題	医薬品等の適正使用や薬物乱用防止に対する興味・関心が薄い市民がいる。			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	「医薬品医療機器等法」及び「毒物及び劇物取締法」の遵守による保健衛生上の危害の防止と、安全かつ適正な医薬品・医療機器、毒物劇物等の供給、使用。				
事業概要	1. 医薬品医療機器等法の規定に基づき、医薬品等の適正な供給の確保および適正な調剤がなされるよう、薬局、医薬品販売業(店舗販売業)及び医療機器販売業等に係る許認可等業務及び監視指導を行い、医薬品等による保健衛生上の危害を防止するとともに適正化を図る。 2. 毒物及び劇物取締法に基づき、毒物劇物販売業、毒物劇物業務上取扱者の登録・届出受付業務並びに毒物劇物取扱施設に対する監視指導等を行い、毒物劇物による危害発生防止に努める。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
						監視指導を行う。				薬局、医薬品販売業(店舗販売業)及び医療機器販売業等に係る許認可等業務を実施する。					
指標設定	指標説明					医薬品医療機器等法に基づく立入業態数(同法に基づく許可業態数の約半数を指標として設定)				医薬品医療機器等法に基づく申請・届出の処理対応率 【算出式:処理対応数／申請・届出数×100】					
					単位	件	単位	%							
	指標種類						増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値							R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		目標 (見込み)						200	200	200	200	100	100	100	100
		実績						72	132	109	188	100	100	100	100
達成度						94%				100%					

ロジックモデル②		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)										
						監視指導を行う。				毒物劇物販売業、毒物劇物業務上取扱者の登録・届出を受理する。										
指標設定②	指標説明					毒物及び劇物取締法に基づく立入業態数(同法に基づく登録業態数の約半数を指標として設定)				毒物及び劇物取締法に基づく申請・届出の処理対応率 【算出式: 処理対応数／申請・届出数×100】										
	指標種類				単位		件		単位		%									
	指標数値				R2		R3		R4		R5		R2		R3		R4		R5	
	目標 (見込み)				40		40		40		40		100		100		100		100	
	実績				4		22		12		41		100		100		100		100	
	達成度						103%				100%									

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	4.00
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	11,786	31,248	31,580		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	11,786	31,248	31,580		
	物件費計	3,118	585	765	1,473	51.9%
歳出計		14,904	31,833	32,345		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。 ※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料、手数料)	1,622	1,552	1,885	1,465	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計(物件費に充当される特定財源)	1,622	1,552	1,885	1,465	
一般財源(物件費に充当されるもの)		1,496	0	0	8	

5. 総括的分析

総括的分析	立入検査について、概ね達成できた。その他の事務については適正に執行することができた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努める。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 245

事務事業名称	禁煙支援事業										
測定年度	2023(R5)年度			部	健康福祉部			課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4		R5	
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名		6-2.健康づくりの推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2020(R2)年度		年度	～	2025(R7)年度	年度まで
根拠法令等	健康増進法					
関係補助金名称	枚方市禁煙外来医療費補助金			サンセット	2023(R5)年度	～ 2025(R7)年度
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	禁煙を希望する市民				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	禁煙を持続して行うことが難しい。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	禁煙する人の増加や望まない受動喫煙を生じさせることのない環境づくりにより、市民の健康意識の向上や生活習慣病に罹患する人が減少する。					
事業概要	喫煙及び受動喫煙による健康被害を減らし、禁煙を促進するため、健康保険による禁煙外来治療費の補助を行う。禁煙を希望する人に対して、禁煙に向けたサポートを行う。禁煙希望者には事前に禁煙宣言を記入してもらい、禁煙達成後に費用の補助を行う。禁煙達成後、一定期間継続して禁煙が確認できた場合、さらにひらボを付与する。禁煙支援と合わせて、望まない受動喫煙を生じさせることのない環境づくりを推進する。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
		市民の喫煙率の低下				禁煙しようとする市民が増える				禁煙支援事業を実施する				
指標設定	指標説明	市民の喫煙率				禁煙支援事業受付者のうち禁煙達成者の割合				禁煙支援事業受付数				
		単位	%		単位	%		単位	人					
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 （見込み）	11.50	11	10.50	10	80	96	96	96	100	120	120	120
		実績	11	10.30	10.40	10.60	65	101	58	48	165	82	26	38
達成度		94%				50%				32%				

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	0.65
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考) R5予算額	(参考) 予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	6,128	5,859	5,132		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	6,128	5,859	5,132		
歳入	物件費計	1,367	152	192	2,175	8.8%
	歳出計	7,495	6,011	5,324		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	
一般財源（物件費に充当されるもの）		1,367	152	192	2,175	

5. 総括的分析

総括的分析	令和3年6月から禁煙治療薬チャンピックス(バレニクリン)が出荷停止となっている影響で、禁煙治療実施医療機関も減少し禁煙支援事業の受付や禁煙達成者数が減少している。世界禁煙週間(5/31から6/6)に併せて、市のSNS配信や市役所で禁煙啓発についての懸垂幕設置とともに、ひらかた健康優良企業において禁煙に関するリーフレットの配布などを行った。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努めるとともに、禁煙治療薬の出荷再開時には禁煙支援事業の積極的な啓発を行う。

事務事業実績測定調書

R5調書番号 868

事務事業名称	保健医療課運営事務									
測定年度	2023 (R5) 年度		部	健康福祉部			課	保健所保健医療課		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4		R5
総合計画体系	基本目標	9.施策体系外								
	施策目標	99.施策体系外								
	実行計画名									

1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務	区分	庶務的内部管理事務
事業期間	不明		年度	～	年度まで
根拠法令等	決裁				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	保健所保健医療課職員			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	課の運営に係る事務を適正かつ円滑に実施する必要がある。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営に係る事務を適正かつ円滑に実施している。				
事業概要	課の運営業務				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム （活動効果）				アウトプット （活動結果）				インプット （活動）				
指標設定	指標説明													
	指標種類													
	指標数値													
		目標 （見込み）												
		実績												
達成度														

3. 人員体制 (人)

	R5実績
正職員	1.10
再任用	0.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

4. 決算額

		(千円)				
		R3決算額	R4決算額	R5決算額	(参考)R5予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費					
	正職員、再任用、任期付	7,071	8,593	8,685		
	会計年度任用職員	0	0	0		
	特別職非常勤	0	0	0		
	附属機関委員	0	0	0		
	人件費計	7,071	8,593	8,685		
歳入	物件費計	885	252	312	411	75.9%
	歳出計	7,956	8,845	8,997		
	国庫支出金	0	0	0	0	※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
歳入	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担（使用料、手数料）	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
歳入	歳入計（物件費に充当される特定財源）	0	0	0	0	※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみを記載しています。
	一般財源（物件費に充当されるもの）	885	252	312	411	

5. 総括的分析

総括的分析	適正に事務処理を執行した。
-------	---------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取り組み方針	引き続き、適正な事務処理に努める。